

地区広報

すいざわ

平成20年3月

題字：水沢小学校6年 市橋晃義さん(西條町)

No.56号



写真提供 小林哲博さん(横堀町)

この花の名前分かりますか？

答えは最終ページにあります。

水沢地区の人口

総数……3,474人

男……1,680人

女……1,794人

世帯数……1,120世帯(20.2.1現在)

里山の保全や伝統・文化を守りながら 地域活性化を進めること

昔の姿を取り戻す活動を通じ
出会った地域作りの輪



里山管理と地域住民の親睦

私たち東町住民が管理する里山が内部川沿いにあります。何十年の間放置されてきた山で荒れ放題の山です。この里山を見て誰かが「昔ここでよく遊んだな、少し美しくせないかな。」その言葉を耳にして胸が痛みました。一昨年、自治会長さんののもと、東町自治会員が立ち上がり山そうじに汗を流しました。

美しいのはいいな……。

ここで何か全員が出来るといいな……。

東町の自治会の方って、本当に良い人ばかりです。皆が頑張れば必ずいい公園だってできる、ここに全員が集う場所をつくるんだ。

昨年2年めに入り個性あるまちづくりの審査をパスした。予算内で出会い作業を行い全員の汗で少しずつ美しくなりつつある山を見て東町自治会は寒い中でも頑張っています。完成めざして。

東町自治会長 森 光男

5年生の「米づくり」体験

本校は、本年度はじめて地域の方々の協力の下、5年生が米づくりを体験させてもらいました。5月2日休耕田をお借りして、田植えをしました。保護者のボランティアの方々にお世話になり、子どもたちは、きやあきやあ言いながら泥の中をはだしで一束ずついねいに植えていました。

その後も、何度も田へ観察に出かけ、稲の成長をみんなで見守りました。

そして、いよいよ収穫です。あいにくの天気だったのですが、9月27日稲刈りを行いました。そして、その場で学校にある（どなたかの寄付で）足踏み脱穀機で脱穀しました。稲の束をしっかりととめていなければ吸い込まれてしまいそう。また、足も動かし続けなければ仕事はできないし、「昔の人はたいへん。」といいながら、全員でがんばりました。

1月9日、そのもち米を使って全校で「もちつき大会」をしました。そのものはとびきりおいしいもちでした。

水沢小学校 校長 伊達恭子

伝統文化・伝統農法を守る会

平成19年度有志により、昔ながらの手作業で、田植え、稻刈りなどを通じて子どもたちに米づくりの農法を伝え、苦労した後の収穫の喜び、餅つきの楽しさを体験させ、また、これらを地元の祭りと合体させ、伝統文化・伝統芸能・伝統料理を維持、復活させ、後世に伝える必要を感じ発足した。

春、4月29日新茶祭りの午後、足見田神社東の田んぼで、5歳の子供から75歳の高齢の方まで、一緒にになってどろんこになり田植え。その後焼きそば、ゲームで楽しむ。

5月2日は水沢小学校5年生が田植え。同じ品種である「羽二重餅」を授業の中で体験。100m²を1時間で「並木植え」完了。

夏、あぜ草刈り、除草、消毒、収穫の日を夢見て猪のネットを張る。ところがどっこい、台風にてこける。ネット効果もままならず、猪舞に合ったものの、350kgを収穫。後日、小学校担当の田んぼで収穫。ボランティアも参加。小雨の降る中足踏み脱穀機により約40kgの餅米を収穫。

秋、10月。足見田神社秋の大祭を盛り上げようと当日、収穫祭として餅つき、芋煮を実施。参拝者は、福が来ると言って賞味いただいた。

冬、1月9日水沢小学校でもちつき大会を実施。自分自身で収穫したもち米でついた餅は格別だったのか、子どもの感激の声が印象に残りました。

今年で2年目になります。4月29日の田植えはどうしようか。打ち合わせでは面白いイベント百出しています。どうぞお楽しみに！

当会ではボランティアを募集しています。

連絡先
(南川眞毅 TEL 329-2080)



ミニ情報



茶の実の会ふらつと

5年目を迎えて

茶の実の会ふらつとの活動をはじめて、まる4年となりました。子どもからお年寄り、障害を持つ人や話し相手がほしい人、誰でもふらつと来てふら

つと帰っていく、そんな場所があればいいな!! あそこに行けば誰か居る・そんな場所。習い事に行きたないけど、一人で続ける自信がない。

ふらつとに行けば自分の行きたい時に行つてやりたいだけして帰つてこれる。そんな風に皆が思い思に使える場所。

私たち茶の実の会ふらつとをそんな場所に育てたいと思つてゐる。現在までは月一回の割合で

水沢の皆さんを巻き込んでいます。みなさん! 次は私も! と覚悟しておいてください。(笑)

性が中心となり活動しているが、連合自治会長さんをはじめ色々な方々のお知恵とお力を添えを頂いております。

水沢の皆さんを巻き込んでいます。みなさん! 次は私も! と覚悟しておいてください。(笑)

食と農のふれあう会(仮)を発足します

この度、水沢地区市民センター西隣の学習園を委託管理を任せられることになりました。よろしくお願ひいたします。

その学習園なんですが、市の教育施設課の予算の元、園内に区切りのブロックを業者さんに撤去してもらい、黒木土を入れていただきて約5畝ばかりの平畑が出来上がりました。ここに、水沢の地場産業である茶業の元になる茶樹を植えて、ささやかではありますがちょっととした茶園にしようと考へています。その茶園を「食と農のふれ

あい教室」と銘打つて小学校の子ども達・地元の親子さん達に茶摘体験・製造工場見学・手もみ茶体験・お茶祭神事による献茶・市場での茶販売の体験・茶品評会への出品等、体験していくだけたらと思つてゐます。

当会の目的を左記のようにしました。

茶生産の体験を通じて、水沢の地場産業である茶業・あるいは農業に対する消費者や子供たちの理解を深める。

食育の大切さを考えるきっかけとなり、家庭での食育の実践や展開のヒントとなることを期待する。

飲んでもらい、お茶の良さを発見してもらつて茶を飲む習

活動してきているが、いつでもふらつと立ち寄れる場所となると、将来は固定した場所でスタッフの数ももつと増やすなくてはならないだろう。今は30代から70代までの女性が中心となり活動しているが、連合自治会長さんをはじめ色々な方々のお知恵とお力を添えを頂いております。

水沢の皆さんを巻き込んでいます。みなさん! 次は私も! と覚悟しておいてください。(笑)

慣を根付かせて、将来の水沢の地場産業の一端を担つていってもらう。

今のところ立ち上げは地元の茶農家四人他協力者数名といつたところです。目標は大きく掲げましたが、前途多難といったところです。先輩方のご指導、ご鞭撻のほどを期してやみません。

後になりましたが、この事業に深く尽力いただいております関係者の方々に御礼を申し上げます。

自転車ロードレースも昨年11月4日で3度目となり、町内コース沿道での応援も多数あり、三本松町公民館でのお祝いも好評でした。

天神山坂付近で選手が転倒し救急車が出動する場面もありました。が、無事終了しました。

水沢地区社会教育福祉推進協議会では、地区の方々から寄せられた寄付金を、社会を明るくする運動、町民運動会、地区文化祭、青少年の健全育成事業や地区の環境づくりなどに活用させていただいております。今後とも、「生活改善運動」にご協力いただきますようお願いします。平成十九年八月以来十九年十二月までにご寄付いただきましたのは、次の方々です。

中川 昇 様 (水沢東町)
辻 寛 様 (水沢中谷町)
光本 幸子 様 (水沢東町)
川嶋 堅二 様 (水沢茶屋町)
豊田 宗浩 様 (西條町)
萩村 一 様 (水沢東町)
田中 豊 様 (水沢野田町)
三輪 正敏 様 (水沢中谷町)
土井 正美 様 (水沢本町)
板倉 廣司 様 (三本松町)
松下 嶽 様 (水沢本町)

簡易トイレを設置

水沢地区運動広場(旧水沢中学校跡地)にプレハブ簡易トイレが3箇所設置されます。

表紙写真
椿 椿 白梅 椿
雪柳 寒牡丹 水仙
紅梅 桜 菜の花

ご寄付ありがとうございました